

情報公開・個人情報保護審査会会議録

実施日時 平成30年11月6日(火) 14時00分～16時00分

実施場所 氷上住民センター 第2小会議室

出席者

委員	松尾委員、岸部委員、長崎委員、(欠席 上脇委員、山本委員)
参加者	税務課(藤本、細谷) 学事課(中川)
事務局	谷川、吉住、余田、西田

【情報公開審査会】

- 開会
- 委員・事務局紹介
- 案件
 - 情報公開審査会 副会長の指名について
長崎委員を指名
 - 審査請求に係る指名委員の決定について
長崎委員を選出
- その他

【個人情報保護審査会】

- 開会
- 案件
 - 個人情報保護審査会 会長の選任について
長崎委員を選出
 - 【諮問】市税等クレジット収納の導入について(財務部税務課)
藤本：概略説明
細谷：詳細説明
松尾：費用対効果はどうか。クレジットの使用率が低いのでは。全体の納付率は変わっているのか。期限内の納付が上がっているのはコンビニ収納を含んでいるからなのでは。またクレジット支払は手続きが手間。
細谷：システム改修に500万。ランニングコストは月10万。納付状況は29年度情報しか手元にないため比較できない。比較が必要なら後日お伝えする。
松尾：では、今後どれだけ利用が増えたとしても月当りの費用は10万ということか。また納付1件ごとに手数料はかからないのか。
細谷：手数料は市が負担すると他の支払方法との公平性が保てないため、個人負担を検討してい

る。手続きが手間なことについては、お金がないときに分割払いも選択できるメリットも考えている。コンビニも外出の手間がある。手元で納付できるメリットがある。

藤本：もともと丹波市は収納率が高い。クレジット収納で収納率は上がるとは思っていない。納税手段を増やすためにクレジット収納を入れたい。

長崎：クレジットカードを持っていないという人もいる。アンケートでいうと「希望しない」と答えられている方は持っていないと思う。一般的に説得力をもって、感覚的なものでも良いが、効果はどうか。

藤本：チャンネルを増やすということが納税の交渉で有利になると考えている。

松尾：番号は納付書に入っているのか。

細谷：然り。

松尾：クレジット払いの申請行為は不要か。

細谷：不要。

松尾：手続きの手順は納付書と一緒に送るのか。

細谷：そのように考えている。説明書の量によっては県と同じようにホームページに掲載する方法とするかもしれない。

松尾：見ない人もいるので周知はしっかりとしてもらいたい。

細谷：そうさせていただく。

岸部：情報漏洩があった場合のアクセスがあった履歴などは検証できるのか。

細谷：ログを確認することとなる。

岸部：納付番号だけで特定可能か。

細谷：可能。

岸部：納付されない方は、年齢層などは関係ないのか。

藤本：関係ない。税務課としては納期内納付される方を増やしていきたい。今まで督促などをしていた方が納期内に納税されるようになるなら有効なものだと思っている。

細谷：若年層のほうが、クレジット使用率が低く、40～60代の方が使用を希望しているというデータがある。

松尾：情報漏洩の部分をしっかりとしてもらいたい。後程、費用対効果の検証を。100万使って増えたのが50万では仕方ない。

岸部：専用線の構築費用はどうなるか。

細谷：業者間のことであり、市の負担はない。

長崎：実績が十分でないので、よく分からないところもある。引き続き検証いただく必要はある。費用対効果のシミュレーションはできるのか。一概には言えないと思うが。

藤本：他市の例で1%とみると、丹波市では6、7千万はクレジット収納になると思っている。

松尾：情報漏洩の心配の点では前回から良くなった。時代の流れで便利になるほうが良いような気はする。コンビニや金融機関での支払いのほうが楽な気はするが。

長崎：漏洩のリスクは抑えられている。必要性はある。個人情報保護の点ではクリアしていると思うがどうか。

岸部：4項目に絞られており、この方向で良いかと。

(3) 児童生徒の食物アレルギー対応についての保護者からの情報収集について（教育部学事課）

中川：説明

岸部：今まではどうされていたのか。

中川：同意書をとってやっていたが、条例改正で要配慮個人情報に諮問を要すとなったため諮問した。

松尾：必要なこと。

中川：子供の安全を守るためには必要なことで、医療機関の診断書もつけていただき、それに基づき、しっかり対応している。

松尾：情報が不必要に漏れないようしっかりと管理いただくということで。お願いしたい。

岸部：しっかりと情報共有していただきたい。

3 その他

委員の任期満了が来年度である旨の連絡。

閉会